

**製品名: Cullin 5 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe01866**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 91 kDa; Observed MW: 91 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CUL5
別名	CUL-5; VACM1; VACM-1
遺伝子 ID	8065
SwissProt ID	Q93034
免疫原	ヒト Cullin 5 の組み換えタンパク質

**背景**

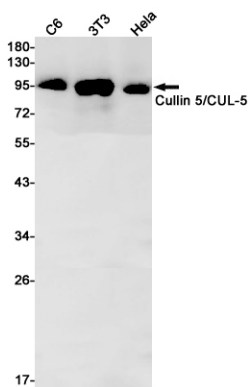
複数の SCF 様 ECS (Elongin-Cullin 2/5-SOCS-box タンパク質) E3 ユビキチン-タンパク質リガーゼ複合体の中核成分であり、標的

タンパク質のユビキチン化とそれに続くプロテアソーム分解を媒介する。足場タンパク質として、基質およびユビキチン結合酵素の配置を介して触媒作用に寄与する可能性がある。E3 ユビキチン-タンパク質リガーゼ複合体の機能特異性は、可変基質認識成分に依存する。ECS(SOCS1)は JAK2 のユビキチン化を誘導すると考えられる。アデノウイルス E1B-55 kDa タンパク質によって刺激される p53/TP53 のプロテアソーム分解に関与すると考えられる。細胞表面バソプレシン受容体を形成する可能性がある。

## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



Cullin 5 抗体を使用した C6、3T3、Hela 溶解物中の Cullin 5/CUL5 のウェスタン ブロット分析。